

////////////////////////////////////



◆ 概要

大阪を拠点に「照明事業」「家具事業」「物流事業」「設備・施工事業」「家電製品、家庭用品の企画・製造・卸売事業」を展開する、小泉産業・小泉成器グループ。本研修は、同グループユニオンによって、業務に直接関わる知識の獲得よりも、参加者に内発的な気づきを持ち帰っていただくことを目的として開催された。当日は本センターの岡崎が登壇し、レクチャーとワークショップを行った。本レポートは、研修当日の内容を簡潔に記録し、講師所感をまとめたものである。

研修開始後はウォーミングアップとして、研修でどんな時間を過ごしたいか、各人の期待を話し合うチェックインを行った。「楽しみたい、リフレッシュしたい」「同期と仲を深める／仕事の情報交換をするために、交流したい」「新しい学びを得たい」という声が多くあがった。講師からは、何をして過ごすかというプログラムは用意しているが、いかに有意義なものにするか、そのためにどう過ごすかは、参加者一人ひとりに委ねることを伝え、研修の導入とした。

はじめのプログラムとして、「入社から現在までの振り返り」を行った。過去の経験をたな卸しすることで、身につけた知識や能力を整理すること、そして、それらをさらに向上させる、あるいは新たな学びを得るなど、今後の成長を促進することが目的であった。また、各々の経験を話し合うことで、同期同士の交流を促すことも目指した。その後は、「みること」をテーマにしたレクチャーとワークショップを行い、研修運営責任者の梅村哲也氏が全体総括を行った。

◆ 講師所感

梅村氏は総括で参加者に「自分事として取り組んでください」という言葉を伝えた。組織で起こっている問題は、そこにいる一人ひとりの問題である。組織で起こる問題に自分事として取り組み、解決に向けて自分から行動を起こすこと。その行動は組織の問題解決を促すことはもちろん、そこで起こった経験から学ぶことによって、自分の能力と価値観を磨くことにもつながられるだろう。

おそらく、自分から行動を起こすには勇気が必要だろう。しかし、たとえ葛藤や抵抗が生じたとしても、そこを乗り越えて身につけた能力は、自分の将来を豊かにする術にもなるはずだ。日々起こる物事に、ぜひ自分事として取り組んでいただきたい。参加者のこれからの活躍を、心から願っております。貴重な機会を頂戴し、誠にありがとうございました。